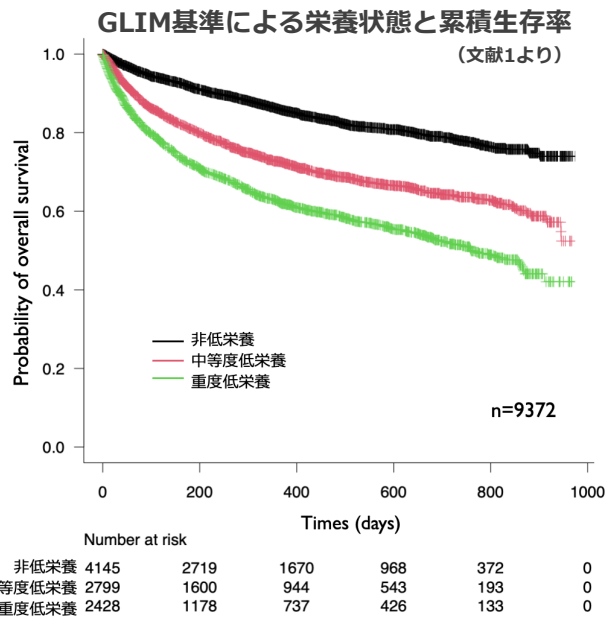
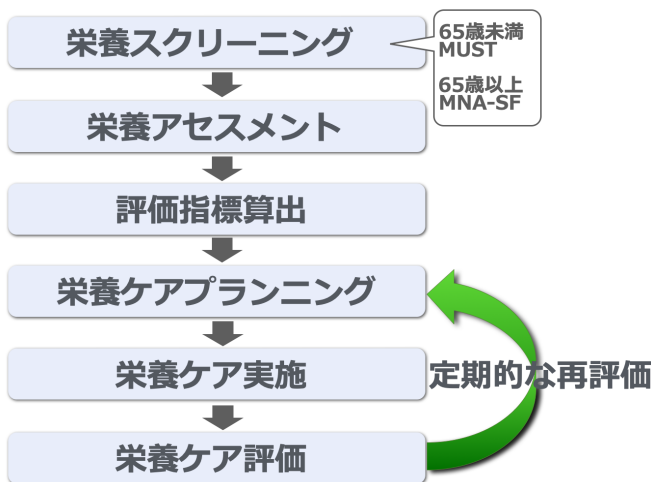


# GLIM基準を用いた栄養アセスメントの実施例

## - 愛知医科大学病院におけるGLIM基準を用いた栄養ケア -

ルーティーンでの栄養アセスメントにGLIM基準を用いて栄養ケアを行っている愛知医科大学病院の例を紹介します。900床の急性期病院である愛知医科大学病院では、全成人入院患者に対し、若年成人にはMalnutrition Universal Screening Tool (MUST)、65歳以上の高齢者にはMini-Nutritional Assessment Short Form (MNA-SF)を用いて栄養スクリーニングを行い、栄養リスク症例を抽出しています（文献1）。MUSTが2点以上、あるいはMNA-SFのスコアが11点以下の栄養リスク症例は、全例NST回診の対象となり、栄養サポートチーム（NST）がベッドサイドで栄養アセスメントを行います。GLIMの基準を用いた低栄養診断の筋肉量の低下は下腿周囲長を用いて行うため、問診に加え身体計測を行い低栄養診断を行います。栄養アセスメント結果に基づき、栄養ケアのプランを提示しています。定期的に再評価を行い、栄養ケアの見直しを行っています。

### 愛知医科大学病院の栄養ケアフロー



### 愛知医科大学病院のGLIM基準カットオフ値 (文献1より)

表現型基準 (フェノタイプ基準)		病因基準 (エチオロジー基準)		
体重減少	低BMI	筋肉量の減少	経口摂取量減少、もしくは同化不全	疾病負荷/炎症
<b>中等度低栄養</b>		下腿周囲長 男性; <30.0cm, 女性; <29.0cm	>1週; 必要栄養量の50% or >2週; 様々な程度の減少 or 食物の同化または吸収に悪影響を及ぼす慢性的な消化管の状態	急性疾患/外傷 or 慢性疾患 or CRP>0.5 mg/dL
5-10%/6ヶ月間, or 10-20%/6カ月以上	年齢<70 <18.5kg/m <sup>2</sup> , 年齢≥70 <20kg/m <sup>2</sup>			
<b>重度低栄養</b>		下腿周囲長 男性; <27.0cm, 女性; <26.0cm		
6ヶ月間に >10%, or 6カ月以上で >20%	年齢<70 <17.0 kg/m <sup>2</sup> , 年齢≥70 <17.8 kg/m <sup>2</sup>			

ピンクの欄はGLIMの原著で定まっておらず、人種による基準値の設定が必要のため、高度低栄養の低BMIは文献2、下腿周囲長のカットオフ値は文献3を根拠に設定。

### 参考文献

- 文献1. Mori N, et al. Prognostic implications of the global leadership initiative on malnutrition criteria as a routine assessment modality for malnutrition in hospitalized patients at a university hospital. *Clinical Nutrition* 2023;42:166-72.
- 文献2. Maeda K, Ishida Y, Nonogaki T, Mori N. Reference body mass index values and the prevalence of malnutrition according to the Global Leadership Initiative on Malnutrition criteria. *Clinical Nutrition (Edinburgh, Scotland)* 2020;39:180-4.
- 文献3. Maeda K, et.al. Predictive Accuracy of Calf Circumference Measurements to Detect Decreased Skeletal Muscle Mass and European Society for Clinical Nutrition and Metabolism-Defined Malnutrition in Hospitalized Older Patients. *Ann Nutr Metab* 2017;71:10-5.